

交換留学レポート③ (11月～12月)

H.S.

語学堂修了

11月18日、今回の交換留学のメインであった語学堂が修了しました。修了式では成績優秀者や最終課程を終えた学生に記念品が送られたり、学生のスピーチがあったりしました。式が終わった後にはクラスみんなや担任の先生と写真を撮ったり話したりして、最後の時間を楽しく過ごしました。

国内旅行

語学堂が終わってからは毎週水曜日にしか授業がなかったので、いろんな場所に観光をしに行きました。特に記憶に残っているのは、北朝鮮を見に行ったことです。その日は、語学堂で知り合った日本人友達と一緒に北朝鮮が見えるカフェに行くツアーに応募して行きました。ソウルから車で1時間半ほどでDMZ(非武装地帯)に到着し、40分ほど北朝鮮を眺めながらツアーガイドさんの説明を聞きました。北朝鮮は、映像では見たことがありましたがいざ目の前にするととても不思議な感じがしました。何と表現すればいいのかわからないので、下の写真を見ていただくと幸いです。日本からでも応募できて日本語のガイドさんがついているので、気になる方はぜひ一度行ってみてください。

そして12月には、대전(大田)・대구(大邱)・밀양(密陽)・부산(釜山)という都市を1週間かけて旅行しました。どこもソウルと比べると田舎で、特に密陽は外国人観光客が全く見られない場所でしたが、韓国にはどの地方にも割と大きめの伝統市場があるので、私のように市場巡りが好きな人は是非地方に足を運んでみてほしいです。釜山では、これまで学んだ韓国語をフル活用し、市場にある飲食店の社長さんとお酒を飲みながら会話をしました。嬉しいことに、社長さんは日本が大好きだし何度も旅行にも行ったと言ってくれました。

帰国

12月17日、期末テストを終えて全ての課程が終了しました。その日以降はEMSという国際郵便にお土産を詰めて日本に送ったり、友達やルームメイトとご飯に行ったりしました。退寮日が20日だったのでかなりバタバタでしたが、無事全ての予定を終え、22日に米子空港に帰ってきました。楽しいこと、嬉しいこと、難しいこと、嫌なことなどいろいろありましたが、4ヶ月という期間でたくさんの経験ができました。

このレポートが今後誰かの「留学」という決断の後押しになればいいなと思います。ありがとうございました。



韓国から見た北朝鮮です。
人の気配は全くなく、建物の窓ガラスも割れているところがあります。





大邱の、市街地から外れたで街で食べたポッサム定食です。韓国で食べたご飯の中でトップ5に入るぐらい美味しかったです。キムチは人生で一番美味しかったです。



これは「ムンティギ」という生の牛肉の料理で、ごま油やヤンニョムソースにつけて食べます。日本では食べられないので特別感がありました。



これは、密陽の一角の写真です。日本からの独立運動が盛んだった街なのもあり、銃や剣を持った銅像や絵などが街の至る所がありました。歴史的な建物も多く、いろんな価値観や歴史を感じられました。

